

広島別院だより

Vol.27
秋号

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会 発行

秋彼岸会が勤まりました

九月二十四日、秋彼岸会が勤まりました。講師は龍善寺（安芸南組）住職穴戸大観師が務められました。以下、法話の抄録です。

●彼岸とは阿弥陀仏の浄土

彼岸（浄土）は死後の世界と誤解している人がいる。しかし浄土は三世十方（過去現在未来とこの世界のすべて）にはたらく阿弥陀仏の本願の世界であり、今生きている私たちにはたらく続けているのである。

●感動と慚愧が生き方を変える

親鸞聖人の和讃に「弥陀成仏のこのかたはいまに十劫をへたまえり」とある。「今」とは私が仏のはたらきに目覚めた時であり、「十劫」とは私が目覚めるまで仏がはたらき続けた途方もない時間である。仏のはたらきに遇えば、十劫の間、仏が私を見捨てなかつたという感動と、そこまで気づくことが出来ず、「ご苦労をかけてしまったという慚愧が生まれる。阿弥陀仏の本願のはたらきが私のところに届くと信心となる。それは心の臨終とも言われる。「お恥ずかしい」という慚愧が私の心の有り様を見直し、生き方を変えてくれるのである。



講師：穴戸大観 師

●仏の本願に導く人＝善知識
教えを聞くことで本願のはたらきに出遇うことができる。そこに導く人を善知識という。善知識は高德の人だけではなく、様々なところにいる。娘の死を縁として教えを聞くようになった人がいたが、その人にとっては娘が善知識なのであろう。また小さな子どもに教えられることがある。寺の保育園に通う園児が蝉の死骸を先生に届けに来た。先生が「何で死んだんかねえ」と言うと、園児が「お仕事が済んだんよ」と答えた。蝉は自身のいのちを精一杯に尽くしたということ子どもに教えられた。その子どもまた、家のおばあちゃんに教えられたそうである。

山陽教区坊守会一泊研修会

十月七日、山陽教区坊守会一泊研修会が開催されました。泉原寛康氏（山陽教区教区会議長）の法話に続き、多賀俊介氏（広島を歩いて考える会代表）が「平和への道、つながりを求めて」と題して講演されました。



講師：泉原寛康 氏



講師：多賀俊介 氏



勤行の様子

大谷大学仏教公開セミナー

「聖徳太子の護持養育」

八月二十九日、大谷大学仏教公開セミナーが開催されました。（主催：大谷大学同窓会広島支部）

講師の井上尚美先生（大谷大学副学長）は、親鸞聖人が尊敬された聖徳太子の業績を通して、二十一世紀の現代世界における護持養育について話されました。



講師：井上尚美 師

真宗基礎講座

（第六回・七回）

真宗基礎講座が八月二十四日（第六回）・十月十二日（第七回）に開催されました。第七回は台風十九号の最中でしたが、多くの方が参加されました。

講師の三明智彰先生は、承元の法難により流罪となった親鸞聖人の越後での生活について話されました。



講師：三明 智彰 師

広島別院団体参拝

左記の団体が団体参拝されました。お参りいただき、誠に有難うございました。

十月十七日 赤穂組育成員 様

お寺のハテナ？ 『お墓 2』



本願寺はもともと親鸞聖人の
お墓でした。親鸞聖人は「某
親鸞 閉眼せば、賀茂河にい
れて魚にあたうべし」と言い残
したと伝えられています。

ところが、弘長二年（一二六
二年）に亡くなられると、娘の
覚信尼たちは遺体を賀茂川に流
すことをせず、鳥辺野の南の延
仁寺で火葬し、そして大谷の地
に葬りました。

十年後の文永九年（一二七二
年）、吉水の北に大谷廟堂が建
てられ、そこに遺骨が移されま
す。廟堂には関東の弟子たちも
お参りし、親鸞聖人の御影像を
安置するなどして、次第にお寺
の形を取ります。

そして、親鸞聖人の曾孫であ
る覚如上人の時に寺院として認
められ、本願寺と名づけられま
した。

ですから、東本願寺の山門に
は「真宗本廟」という額が掲げ
られています。廟とは祖先を祀
る場所という意味です。

仏塔や本願寺という、お釈迦
さまや親鸞聖人のお墓があった
から、仏教や真宗が今まで伝わ
っていると言えます。

法座・講座等のお知らせ

12月7日(土) 真宗基礎講座

～親鸞の生き方にたずねて～
(第2シーズン)

【講 師】 三明智彰 先生 (九州大谷短期大学学長)
【日 程】 毎回 13:30～16:00 【会 費】 500 円
【会 期】 2020/2/22(土)、4/11(土)



〈親鸞聖人のご生涯をたずね、浄土真宗の教えの基礎を学ぶ講座です〉

12月4(水)・5日(木) 報恩講

【講 師】 寺川大雅 先生 (芸備組 西願寺住職)
【日 程】 4日 14:00～逮夜勤行(入楽※¹)と法話
16:00～初夜勤行と御伝鈔の拝読
5日 8:00～晨朝勤行と法話
10:00～日中勤行(入楽※¹)と法話



※1 入楽とは雅楽演奏の入る法要です

〈広島別院報恩講を上記のとおり厳修いたします。お誘いあわせのうえ、ご参詣ください。〉

毎月5日 定例法話 (ご今日の集い)

【講 師】 県内僧侶(月替わり) 【日 程】 14:00～勤行と法話(15:00 終了予定)
〈広島別院開基 教如上人の御命日(毎月5日)に法話会があります。〉

道場樹

【編集室より】

九月二十七日広島東洋カープ
赤松真人選手の引退セレモニー
がマツダスタジアムで行われま
した。

二〇一六年十二月に胃ガンが
見つかり、翌二〇一七年一月に手
術を受け、一軍に上がることを目
標に努力を重ねてきた赤松選手
が、この日は三年ぶりに一軍選手
として九回に中堅守備につきま
した。とても幸せそうな笑顔と、
頼もしい姿に感動しました。

セレモニーの挨拶の中で、「そ
れまで当たり前だった応援が、自
分が当たり前前の状態でなくなっ
た時、応援は絶大なパワーだと気
づかされました」という言葉があ
り、何と深い言葉だろうと鳥肌が
たちました。

私自身、当たり前前に感謝
も感動もせず、時には不平不満を
漏らしながら日々を過ごしてい
ます。どれだけもったいない時間
の過ごし方をしてきたのかと反省
すると同時に、今がどれだけ有
り難い幸せの中に生きているの
かということに気づかされまし
た。

今回の引退セレモニーから、感
動と生きていく上で大切な言葉
をいただきました。

(S・R)

真宗大谷派(東本願寺) 〒730-0044 広島市中区宝町 4-16
広島別院 明信片院 Tel 082-241-5342(電話・FAX 共通)

東本願寺 広島別院

検索